

令和5年度

第4回

三鷹市健康福祉審議会 会議録（要旨）

1 日 時	令和6年2月14日(水) PM7:00~8:30
2 会 場	教育センター 大研修室
3 出席委員 (11人)	宇井義典(会長)、和田敏明(副会長) 小林義明、中柴和子、神崎恒一、内原正勝、星野博忠、竹内美佐子、 吉野美枝、新津健朗、竹川健太郎
4 市側出席者 (11人)	土屋宏(副市長)、小嶋義晃(健康福祉部長)、近藤さやか(保健医療担 当部長)、嶋末和代(地域福祉課長)、立仙由紀子(障がい者支援課長)、 鈴木政徳(高齢者支援担当課長)、竹内康眞(介護保険課長)、小島美保 (保健サービス担当課長)、山口和昭(新型コロナウイルスワクチン接種 担当課長)、鈴木清一(価格高騰重点支援給付金事業推進室長) 秋山慎一(子ども政策部長)
5 会議の公開 ・非公開	公開
6 傍聴人数	9人
7 会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会長あいさつ</li> <li>2 諮問事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第三期三鷹市障がい者(児)計画(案)について</li> <li>(2) 三鷹市高齢者計画・第九期介護保険事業計画(案)について</li> </ol> </li> <li>3 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第三期三鷹市国民健康保険保健事業計画(データヘルス計画)・第 四期三鷹市特定健康診査等実施計画(案)について</li> <li>(2) 新型コロナウイルスワクチン接種事業について</li> <li>(3) 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金(追加給付分)給付 事業について</li> </ol> </li> <li>4 諮問事項に関する説明及び質疑応答</li> <li>5 報告事項続き <ol style="list-style-type: none"> <li>(4) 第5次三鷹市基本計画(1次案)について</li> <li>(5) その他</li> </ol> </li> <li>6 その他</li> </ol>
8 資料	<p>[配付資料]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度第4回三鷹市健康福祉審議会次第</li> <li>(2) 令和5年度第4回三鷹市健康福祉審議会(席次表)</li> <li>(3) 【資料1-3差替】P154</li> <li>(4) 【資料2-3差替】表紙、P150、P152、P153</li> <li>(5) 【資料5差替】</li> </ol> <p>[事前送付資料]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 【資料1-1】「第三期三鷹市障がい者(児)計画(素案)」のパブリ ックコメントで出された主なご意見</li> <li>(2) 【資料1-2】「第三期三鷹市障がい者(児)計画(素案)」に係る市 民意見への対応について(案)</li> <li>(3) 【資料1-3】第三期三鷹市障がい者(児)計画(案)</li> <li>(4) 【資料2-1】「三鷹市高齢者計画・第九期介護保険事業計画(素案)」 のパブリックコメントで出された主なご意見</li> <li>(5) 【資料2-2】「三鷹市高齢者計画・第九期介護保険事業計画(素案)」 に係る市民意見への対応について(案)</li> <li>(6) 【資料2-3】三鷹市高齢者計画・第九期介護保険事業計画(案)</li> <li>(7) 【資料2-4】資料編 用語解説</li> <li>(8) 【資料3-1】「第三期三鷹市国民健康保険保健事業計画(データヘル ス計画)・第四期三鷹市特定健康診査等実施計画(素案)」に係る市 民意見への対応について</li> </ol>

	<p>(9) 【資料3-2】第三期三鷹市国民健康保険保健事業計画（データヘルス計画）・第四期三鷹市特定健康診査等実施計画（案）の概要版</p> <p>(10) 【資料3-3】第三期三鷹市国民健康保険保健事業計画（データヘルス計画）・第四期三鷹市特定健康診査等実施計画（案）</p> <p>(11) 【資料4】新型コロナウイルスワクチン接種事業</p> <p>(12) 【資料5】電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金（追加給付分）給付事業について</p> <p>(13) 【資料6】第5次三鷹市基本計画（1次案）について</p> <p>(14) 令和5年度第3回三鷹市健康福祉審議会会議録（要旨）（案）</p>
--	---

[ 開 会 (午後7時00分)]

1 会長あいさつ

省略

**【事務局】** 一部委員より遅れる旨の連絡があったことから、次第の流れを変更し、諮問が終わりましたら報告事項の一部を先に行い、その後、諮問案件の議論に戻ります。

2 諮問事項

- (1) 第三期三鷹市障がい者（児）計画（案）について
- (2) 三鷹市高齢者計画・第九期介護保険事業計画（案）について

**【副市長（市長代理）】**（挨拶及び諮問）

3 報告事項

- (1) 第三期三鷹市国民健康保険保健事業計画（データヘルス計画）・第四期三鷹市特定健康診査等実施計画（案）について

**【保健医療担当部長】**

（事前送付資料(8)～(10)に沿って報告）

（質疑応答）

**【委員】** 受診率が年々低下している点が気がりなので、解消方法や工夫が必要かと思います。以前インセンティブ事業を実施していたと思いますが、最近の取組があれば教えてください。

**【保健医療担当部長】** インセンティブ事業としましては、対象となる方にスバルのスポーツセンターの利用券をお渡しして、受診率の向上につなげる取組を実施しています。委員がおっしゃったように受診率については、健診や特定保健指導も上げていく必要がありますので、医師会の皆様とも相談しながら進めていきたいと考えています。

**【委員】** 特定保健指導については、医師会の中でも議論されておりますので、検討が進むといいと思います。

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種事業について

**【新型コロナウイルスワクチン接種担当課長】**

(事前送付資料(11)に沿って報告)

(質疑応答)

**【委員】** 新型コロナウイルスワクチンには、一定の重症化予防の効果が認められていますので、接種率を高めることは大切です。また、自己負担がインフルエンザワクチンと同じぐらいの設定となるように、東京都に働きかけていただくことも大事ですので、よろしく願いいたします。

**【委員】** 私の診療所でこの3年間約1,400人の陽性者を診断しました。その中で重症化して非常に困惑した例は、接種を受けてない方が多かったです。やはり、ワクチン接種が重症化をかなり抑制しているというのは間違いのない事実なので、ぜひ市としてもワクチン接種を積極的に啓発するようにお願いします。

(3) 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金(追加給付分)給付事業について

**【価格高騰重点支援給付金事業推進室長】**

(配付資料(5)に沿って報告)

(質疑応答なし)

4 諮問事項に関する説明及び質疑応答

**【会長】** 諮問を受けた第三期三鷹市障がい者(児)計画(案)と三鷹市高齢者計画・第九期介護保険事業計画(案)について、前回報告いただいた内容との変更点やパブリックコメントなどについて事務局より報告をお願いします。

【障がい者支援課長】 【介護保険課長】

(事前送付資料(1)～(7)、配付資料(3)、(4)に沿って説明)

(質疑応答)

【委員】 障がい者(児)計画の1-2のパブリックコメントに人財確保の意見がありました。また、資料2-2高齢者計画のパブリックコメントにも介護人財についての意見が非常に多く寄せられていました。前回は申し上げたように、三鷹市に限らず全国的にも保育を含めた福祉の人財確保は、喫緊な課題となっております。恒常的な福祉の人財確保という点では、自治体の「後押し」なくてはなし得ないと感じています。この場を借りて、市からの一層の「後押し」を期待したいと思いません。

【健康福祉部長】 ご意見ありがとうございます。市としても、それぞれの分野において人財確保が非常に重大な課題だと認識しております。高齢者計画に関しては、一定程度新たな施策等も打ち出して人財確保に取り組もうとしているところで、ただし、障がいの分野に関しては、具体的にまだお示しできないのが現状です。高齢者、障がいの分野に限らず福祉全体として将来的な人財の確保について、今後しっかりと取り組んでいかねばならないと考えています。

【委員】 人財の確保は、本当に喫緊の課題ですが、いろいろな案が出てもなかなか前に進まないのが現状かと感じます。

【委員】 先ほどの意見に補足です。福祉の分野というと、低賃金だとか3Kだとか耳に痛いようなニュースがネットニュースを中心に散見されています。そういったニュースを払しょくするためにも、今の小学校、中学生、高校生に対して、「福祉を志してみよう」と思える啓発活動を今後打ち出していくことが必要だと思います。

【介護保険課長】 介護の分野においては、この8期の期間中から中学生向けに介護のお仕事を紹介する冊子を作っています。そして、中学校で実施している職場

体験の実施時期を見据え冊子を配布しています。

【委員】 私も資料を見てパブリックコメントが多いのでびっくりしました。これらの計画に市民の方々が注目していて、三鷹市に対する期待が大きいということを感じました。何か1つでも「三鷹市はこれをやっています」というのを皆さんにお示しできれば、これらの計画がうまくいくのではないかと思います。

【委員】 施設整備計画で介護保険施設と地域密着型サービスは、計画上は増えていません。また、有料及びサービス付き高齢者住宅は、若干ですが増えていくということになっています。この状況は、社会ニーズが変わってきたということでしょうか。背景について教えてください。

【高齢者支援課担当課長】 今回の計画の中で特に施設を増加するということは、見込んでおりませんが、例えば特養などの施設については、直近でも増設されており、一定の施設整備というものは図られているという認識です。まずは、既存の施設の支援や人財確保の支援等をしっかりとやっていかなければならないと、現状は捉えております。

【委員】 従来ですと増やしていくという計画がほとんどだと思います。そこが変わってきているのか、それともニーズが減った増えたという予想はあまりできないのか、あるいは特養や地域密着型ではなく他の施設等でまかなえる状況になってきているのか、そのあたりが今までの計画にはなかったように感じるので、その点について教えていただきたい。

【健康福祉部長】 今回の計画では、例えば介護老人保険施設の増設の計画はありません。前回2つ増えたときには、民間からの相談があったことから、計画に載せることができました。現状としては、三鷹で新たに大きな施設を造るのは、土地の確保の観点からも難しい状況です。

一方で、高齢者は増えていきますので、例えば「福祉Laboどんぐり山」を使うことで、より在宅の生活ができるような工夫を、そして、リハビリを受けて在宅に戻れるような工夫をしていきたいと考えています。

また、高齢者住宅に関しても、幅広い問題があることから、今後の活用等についてしっかりと検討していきたいと考えています。施設はなかなか増えない状況ですが、在宅関連の施設をしっかりと支えていくことが必要となります。

また、先ほど介護保険課長からの説明で認知症グループホームの計画が1つありましたが、残念ながら事業者さんから辞退ということで白紙に戻ってしまいました。第9期でもう一度募集をかけて、令和8年度末には、改めてオープンできればと考えています。

**【委員】** 高齢者に対する施設の定員数といった市区町村別の資料はあるのでしょうか。

**【高齢者支援課担当課長】** 特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームにつきまして、市区町村ごとの高齢者人口の割合を踏まえた充足率といったデータはあります。三鷹市は、そこまで不足しているというような際立った数字は出ていないという状況です。

**【会長】** 委員の皆様、貴重なご意見とご発言をいただきありがとうございます。本日の議論を踏まえて「三鷹市第三期三鷹市障がい者（児）計画（案）」及び「三鷹市高齢者計画・第九期介護保険事業計画（案）」については、おおむね了承する旨の答申をいただいたと思いますが、ご異議はございますでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

**【会長】** ご異議なしのお声がありましたので、了承の旨の答申をしたいと思えます。答申書の作成等は、時間の都合上会議終了後に正副会長と事務局とで行いますので、ご了承ください。

それでは、報告事項に戻りまして、報告事項の(4)について事務局よりお願いします。

## 5 報告事項続き



(4) 第5次三鷹市基本計画（1次案）について

【健康福祉部長】

（事前送付資料(13)に沿って報告）

（質疑応答なし）

(6) その他

【会長】 本日欠席の委員から、「1月1日に起きた能登半島地震に関連して三鷹市の避難所における健康管理などについて現状と今後について話してほしい。」というご要望をいただいております。事務局からご説明をお願いします。

【地域福祉課長】 三鷹市の災害対策につきましては、総務部防災課が所管しており、実際の発災時には、市長を本部長とする災害対策本部が設置され、各部がそれぞれの役割を担うことになります。

避難所についてご説明をさせていただきます。三鷹市の避難所では、1人当たりの面積2平方メートル以上を確保することを原則とし、主にパーティションを活用して居住スペースを確保することとしております。また、居住スペースの割り振りは、世帯単位を原則として可能な限り血縁関係や顔見知り同士などになるように考慮するとしています。さらに、要配慮者、高齢者、障がい者の方などには、居住スペースの選定時に配慮するなど、必要に応じた専用のスペースの確保に努めるようにするとしています。

避難所に指定されている施設ごとに、平時から避難所運営連絡会を設置し、避難所の運営マニュアルの策定や見直しを随時行っています。コミュニティ・センターや三鷹市立の小中学校などでは、ほぼ全ての場所でマニュアルの作成を終えていますが、それ以外のところでは、まだ運営連絡会自体が未設置のところも幾つかあります。

この連絡会の構成員は、町会や自治会をはじめとする地域住民の方、施設の管理者、市職員となります。また、小中学校の場合は、コミュニティ・スクール委員やPTA等の学校関係者、その他の関係団体などで構成されています。発災時に避難所が開設される場合には、そのメンバーに避難者を加えまして避難所運営委員会として転換し、施設ごとのマニュアルを基に避難所での生活のルールを定めて、避難

してきた避難者の方々がそれぞれ自主的に運営していくようになっていきます。

避難所における感染症対策につきましては、令和2年度に策定した避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを基に過密状態の防止、発熱等の症状がある避難者との混在を防ぐための避難所内のゾーニング、感染症対策に必要な物資、マスクや消毒薬等を確保するなどの対策を取ることとしています。

三鷹市では、災害に備えて三鷹市地域防災計画を策定していますが、令和4年5月に首都直下地震等による東京の被害想定が改定されまして、昨年5月に東京都の地域防災計画の震災編が修正されたことを受けまして、現在三鷹市では、計画の震災編について改定作業を進めています。

コロナ前の令和元年台風第19号の際に三鷹市では、初めて避難所を開設いたしました。その後は、幸い避難所を開設するような災害には見舞われておりませんが、頻発する自然災害に危機意識を持って平時からの取組を進めていきたいと考えています。

今回の能登半島地震もそうですが、これまでの各地の過去の大きな災害での経験に学び、配慮が必要な方の避難所となる福祉避難所については、これから特に注力して準備を進めていく予定としています。

(質疑応答)

**【委員】** 今回の能登半島の地震は、本当にひどい被害になっています。三鷹とは大分違う環境ですが、1番の困りごととして共通するのは、やはりお水とトイレという感じがしますので、まずは重点的に、そして明日災害が起きても困らないような対策もお願いしたいと思います。

**【会長】** その他事務局から報告をお願いします。

**【保健医療担当部長】** 口頭での報告になりますが、組織改正についてご説明させていただきます。改正児童福祉法が令和6年4月に施行され、全ての妊婦、子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援を行う機能を有する機関として子ども家庭センターの設置に自治体は努めるという改正がございます。

三鷹市としては、これまでも子育て世代包括支援センターの機能として、子ども

家庭支援センター、子ども発達支援センター、保健センターを中心に取り組んできました。今回の改正を踏まえ、建物は現状のままですが、子ども政策部に健康福祉部の健康推進課の保健サービス係の中の母子保健部門を移管することとし、昨年12月の市議会において、組織条例の改正について可決をいただきました。

これに伴い、これまで保健サービス係で行っていた介護予防事業は、高齢者支援課に移管をいたします。そして、健康増進事業と地域との健康づくり事業は、同じ健康推進課内の他の係、保健総務係または健康診査係に移管をいたします。

また、来年度から新型コロナウイルスのワクチンが定期接種化されることや予防接種事業事務が増えていることから、新たに健康推進課内に予防接種係を設置いたします。

それぞれの業務については、今と同様に保健センターで行います。保健センターの中に、健康福祉部の健康推進課と子ども政策部の新設となる子ども家庭課の母子保健係と一緒に執務をするという形になりますので、よろしく願いいたします。

(質疑応答なし)

**【会長】** 本日の議題は以上となりますが、第12期三鷹市健康福祉審議会の委員の任期は、令和6年5月31日までということになっています。今回の審議会は、実質本日が最後となります。せっかくですので、お一人一言ずつご意見やご感想をいただければと思います。よろしく願いいたします。

**【委員】** 用語が難しくてなかなか理解ができなかったところもありましたが、いろいろ勉強させていただきました。ありがとうございます。これからこういう分野の勉強をして、機会があれば何かできればいいかと思っております。本当にお世話になりました。ありがとうございます。

**【委員】** 内容が割と幅広かったので、自分には関係ないような分野にまで話が及び、十分理解できたかどうか、また、なかなか意見が出ないというもどかしい気分でおりました。しかし、皆さんが三鷹市民の健康について、また、障がいのある方も個性を生かして生活できるようにと考えられていることが分かり、三鷹市民として心強く感じる場所でありました。ありがとうございます。

【委員】 私も同じ印象です。非常に幅広い分野について審議したと思います。私も全部分からなかったところがありますが、専門である認知症のところに関しては、多少意見が言えたので、よかったのかもしれませんが。認知症に関しては、これから認知症基本法というものができて、それに対する具体的な計画というのが出てくると思います。その点に関しては、またこういった会議の中で検討ができればいいのではないかと感じております。長い間どうもお世話になりました。

【委員】 医師会を代表する立場から審議に参加させていただきましたが、今期よかったのは、ようやくコロナの状態が少し落ち着いて、このように対面での会議で皆さんの生の声を拝聴することができたことです。私自身も大変勉強になりました。また今後の医師会運営等に生かしていくことができればと思っております。ありがとうございました。

【委員】 医療の分野、特に薬に関わる部分でどれだけお力になれたかは未知数ですが、非常に勉強になりました。今後もさらに勉強をしていけるよう頑張りたいと思います。ありがとうございました。

【委員】 三鷹市に住んでいる方の今何が問題であるか、どこを変えていかなくてはいけないうか、三鷹市が住みやすいようにしていくにはどうしたらいいかなど、皆さんとお話ができ、さらに市民が積極的に注目しているということをパブリックコメントを通じて見せていただきました。今後も何か手助けできることがあったらやっていきたいと思ひます。ありがとうございました。

【委員】 保育園でも学習体験、中学生の受入れをしています。他の福祉のお仕事の学習体験も、もっと幅広く中学生が体験できるといいのではないかと思ひました。ありがとうございました。

【委員】 障がい者の施策は、本当に目まぐるしく変わっています。障害者の権利に関する条約（障害者権利条約）を批准するなど国内的にも整備が進んでいる一方で、先ほどもあったような人財の担い手の確保などが目まぐるしく変わっていく

中で、しっかり対応できるような形で今後も尽力していきたいと思っております。  
ありがとうございました。

**【委員】** 地域にある様々な課題の解決のために市の方も一生懸命考えていたり、国や都をはじめとした制度も着実に充実しているということを実感しています。

私が所属している介護保険の市民検討会議でも意見が出ましたが、そういった中でも制度を使えない人、情報が届かない人がおり、「そういう人はどうしたらいいのだろうか」という意見もありました。そういった方を救うためには、今回の基本計画の1次案にもありますが、やはりお互いに助け合うようなつながり、地域づくりが必要であろうと、日々仕事をしながら感じています。

社会福祉協議会としても三鷹市の取組の一つでもある地域ケアネットワークなどと協力をしていきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いたします。

**【委員】** コロナ禍でこの審議会に所属させていただきましたが、今まで地域の中ではよく見えてなかったけれども、本当はそれが進んでいたという課題が、随分出てきたのではないかと感じています。三鷹は、外国籍の方々のパーセントが恐らく3%程度かと思いますが、人数にしてみれば結構な人数になりますし、社会的な孤立状態にある人が意外に多いということなど、様々なことが明らかになってきました。我々がこれから三鷹市をよりよいものにするために取り組まなければならない課題が見えてきたと思います。

コロナが5類になってから急に実際の活動に参加する人たちが増えてきました。地域ファシリテーター養成講座も今年は完全に対面で実施しましたが、参加者は皆さんすごく元気です。これからも市民の方々と一緒に三鷹づくりを進めていくということが大事だろうと思います。

**【会長】** 皆さま本当にありがとうございました。  
最後に事務局から連絡事項をお願いします。

**【事務局】** 皆様の任期は令和6年5月31日までとなっております。次の第13期の三鷹市健康福祉審議会につきましては、3月下旬頃から各団体の皆様に新委員の

ご推薦をお願いし、新年度6月3日19時から新委員の委嘱式と第1回目の会議を開催する予定です。

【会長】 この2年間はコロナに翻弄された2年とも言えます。市の活動も様々な制限を受ける中で市民の健康福祉に関して皆様に本当にご尽力いただきました。また、市の担当者の方々、この土台づくりに本当にご尽力されていることに頭が下がります。今後も市民のために頑張ってくださいと思います。

インフルエンザ、それからコロナもまだまだ流行しておりますけれども、大分マスクを外す機会も増えてまいりました。ただ、私が現場で診療しておりますと、やはりマスクを外した環境で感染して、重症化される方もいらっしゃいます。人混みの中では、ぜひマスクを続けていただければと思います。おそらく桜が咲いて温かくなる頃には、かなり感染が減っているのではないかと期待しております。先ほど申し上げたとおりワクチンは大変大きな予防手段でございますので、市でもぜひ啓発活動をよろしくお願いします。

それでは、これをもちまして令和5年度第4回の健康福祉審議会を閉会とさせていただきます。

## 6 その他

### 次回の予定

令和6年度第1回健康福祉審議会は、令和6年6月3日（月）19時から元気創造プラザ3階福祉センター会議室にて開催予定

[ 閉 会 （午後8時30分） ]